



鋼製ペール

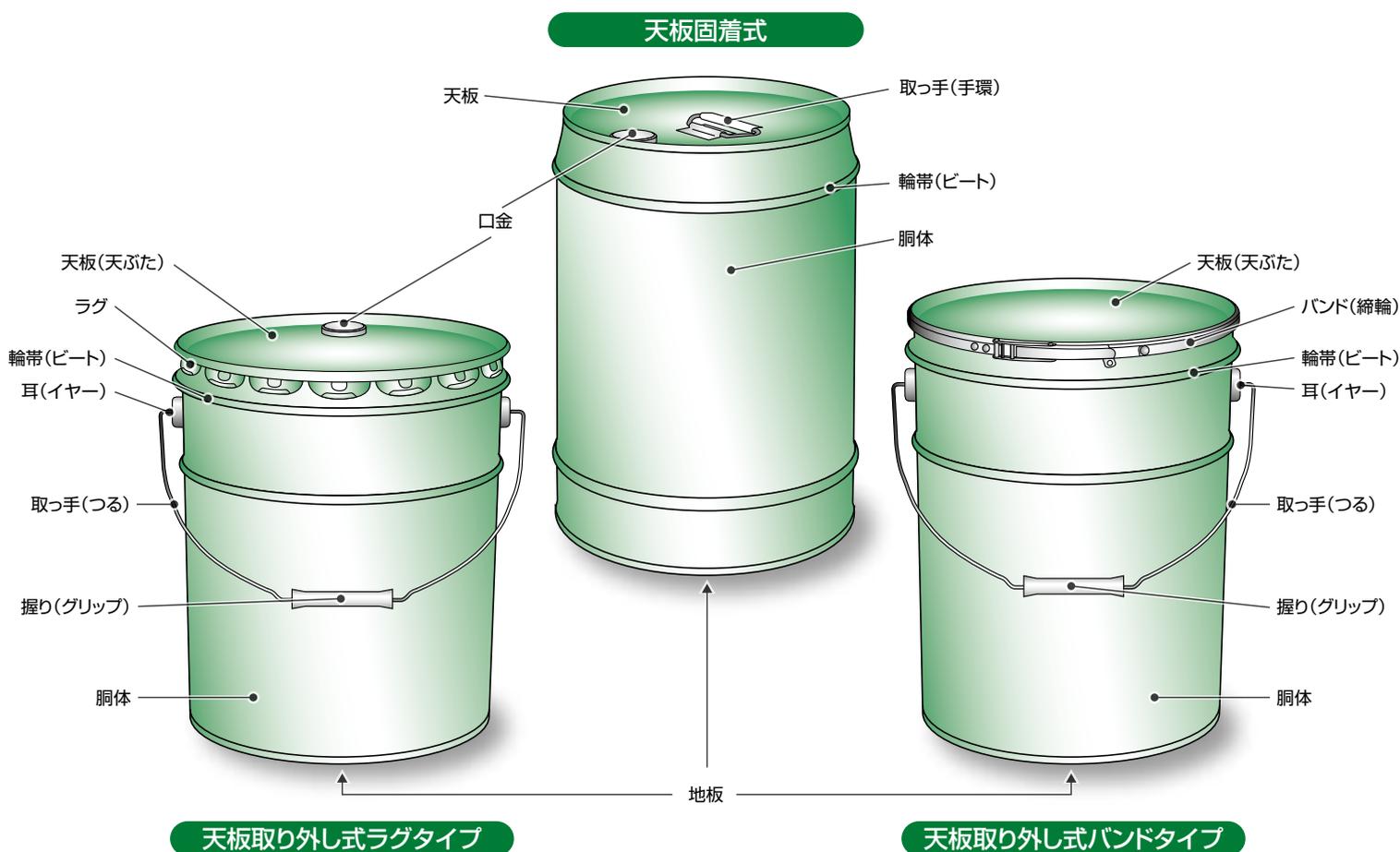
(JIS Z 1620)

取扱上の注意

(改訂第2版)

ここに述べている注意事項は、
鋼製ペール (以下、ペールという) を正しくお使い頂き、
充てん内容物の保護と取扱う人々への危害や損害を
未然に防止するためのものです。

なお、ここでは内容物運搬用に使用される、JIS Z 1620「鋼製ペール」に該当する
ペール、及びこれと同一内径で板厚・容量(高さ)のみが異なるペールを対象としています。



ドラム缶工業会

鋼製ペール (JIS Z 1620)

1 基本的要件

- (1) 内容物の性状に適したペールをお選びください。
 - ・天板の取付け状態や形状によるタイプ
 - ・内面塗装の有無・種類
 - ・パッキンの種類
 - ・口金の種類
 など。
- (2) 内容物が消防法などの法令により危険物に指定されている場合、法規制に適合したペールをご使用ください。
 - ・危険等級、55℃における蒸気圧、比重
 - ・運搬手段・・・陸上(国内)/海上/航空の別
 など。
- (3) **新規の内容物を充てんされる場合、その腐食性やパッキンへの浸食性などにご配慮の上、ペールメーカーにご相談ください。**また、従来品であっても、添加物の種類・量など軽微な変更によって腐食性が大きく変化する場合がありますので、ご注意ください。
- (4) 本来の目的以外には使用しないでください。
例えば
 - ・踏み台にしないでください。転倒するおそれがあります。
 - ・内圧をかけないでください。破裂することがあります。
- (5) 床面を引きずらない搬送手段をとってください。また、落下や突起物への衝撃などの防止にも留意してお使いください。使用している鋼板が薄いので、摩滅や突起物による切断などによって漏洩するおそれがあります。
- (6) ペールは、1人で持ち運び可能な構造となっています。労働安全上過重な質量とならないようにご配慮の上ご使用ください。
- (7) ペールに食品を充てんする場合は食品衛生法等の法令に適合したものを選択してください。

2 空缶の保管

- (1) ペールは**必ず屋内に保管してください。**

屋外保管は雨水などによるさび発生の原因になります。また、口金から缶内部に雨水が侵入するおそれもあります。



- (2) 屋内であっても、以下にご留意ください。
 - ・湿気の多い場所には保管しないでください。
 - ・大きな寒暖差の生じる場所には保管しないでください。結露によるさび発生の原因になります。また、結露水が缶内に浸入するおそれがあります。
 - ・直射日光の当たる場所には保管しないでください。外面の塗装・印刷色に変色するおそれがあります。
- (3) 保管したペールは、**できるだけ早期にご使用ください。防錆上、内面生地缶(非塗装缶)には特にご注意ください。**
- (4) テーパーペールの積み重ねや保管方法に関しましては各ペールメーカーに相談してください。
- (5) ラグ天板の取扱いについてのお願い
ラグ天板はダンボールケースに指定の枚数を積み重ねて納入しています。
ペールメーカーではラグ天板の製造工程・出荷及び輸送時において、爪の変形には注意し、十分な品質管理を行っています。
ラグ天板の爪が内側に変形した状態で胴体に締付きますと、爪の内折れ部より内容物の漏れが発生します。**以下のラグ天板の爪の変形を起こす事例について、ご注意ください。**
 - ・ダンボールケースの取扱いにおいて、転倒や落下などの衝撃を与えないようにしてください。
ダンボールケースが落下及び転倒した時は必ずラグ天板の爪の変形がないかを含め、支障のないことをご確認ください。
 - ・ラグ天板をダンボールケースから取り出し時、または余ったラグ天板をケースに戻す際には爪を変形させないよう丁寧な取扱いをしてください。
 - ・端数のラグ天板を納入する場合、ダンボールケース内でのパウンドによる爪の変形を防止するため、端数ラグ天板をビニール袋入れ納入することを推奨しています。
 - ・ラグ天板を充てんラインの供給機にセットされる時は爪を変形させないようご注意ください。
 - ・充てんライン設備のトラブル時はラグ天板の爪の変形がないかご確認ください。
 - ・充てんラインの天板締め付け前に、爪折れ検出センサーの設置を推奨しています。
また、設置している爪折れ検出センサーは、必ず作動確認をしてください。
 - ・積み重ねられたラグ天板最上部(または最下部)の

鋼製ペール (JIS Z 1620)

爪は、変形する可能性が高いので、爪変形防止用保護天板の装着を推奨しています。

- ・納入いたしました保護天板はリサイクルし再使用しますので、汚さないようご返却してください。

3 充てん時及び充てん後の取扱い

- (1) 胴体や天板、バンド、キャップ、封印などの端部で手を切るおそれがありますので、ペール取扱いの際には必ず保護手袋を使用してください。
- (2) 重ねたペールを充てんラインに搬入する場合、缶内面への接触キズを防ぐため、缶は垂直に抜き取ってください。
- (3) **充てん量は、内容物に応じた適切な空隙を確保するようご注意ください。** 消防法では危険物の場合の容器内容積に対する収納率を
 - ・液体では 98%以下
 - ・固体では 95%以下と規定しています。
- (4) **天板や口金キャップは漏洩を防ぐため正しくセットし締め付けてください。**

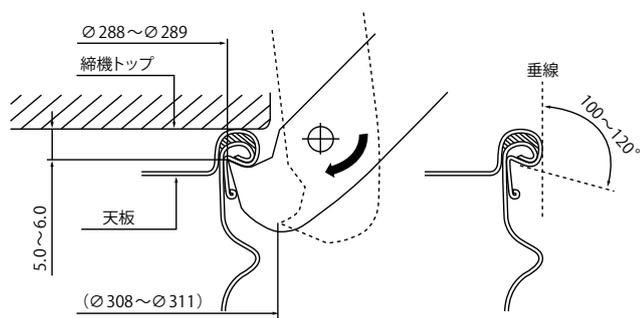
・天板は胴体の開口部に水平にセットし、片締めにならず均一に締め付けられるように、締め機を適切に保持してください。

下図は、ラグ式天板の締め付け基準の推奨例として、

① 締め機の爪の締め込み前後の位置関係

② 締め込み部の接線の垂直に対する角度

を示したものです。



① 締め付け前後の締め機つめの位置関係

② 締め付け状態でのラグの巻き込み部接線の垂線に対する角度 (推奨値)

この場合、締め機の構造及び缶の仕様 (パッキンの材質・形状・寸法など) により締め付け角度 (締め付け力) が多少異なりますので、これらを勘案してペールメーカーが推奨する基準によって締め付けてください。

- ・口金キャップの締め付けには専用の締め機を使用し、片締めのないようにご注意ください。
- ・ドラム用口金のプラグの場合、パッキンの種類により復元力が違うため専用の器具を使用して適切なトルクで締め付けてください。

- (5) **内容物が容器外部や嵌合部に付着した場合、拭取ってから天板やキャップ類を締めてください。** 液体の場合、付着したままで天板やキャップを締めると、誘引により漏れが発生する場合があります。また、内容物により塗装の剥離や印刷の文字やマークなどが消えることがあります。
- (6) 高温の内容物を充てんした場合、できるだけ**常温に下がってから天板締めまたはキャップ締めを行ってください。** 充てん後すぐに密封しますと、バキューム現象によって、缶が変形したり、外気水分を吸入するおそれがあります。



- (7) 充てん後の荷扱いでは、特に天締め部・口金部の変形・破損にごご注意ください。漏洩の原因になります。
- (8) つるまたは手環は、グリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げてください。また、つるまたは手環を急激に強い力 (600N以上) で引張らないでください。
- (9) パレットなどへの**積載時にはつる取り付け部が隣の缶の胴体やつる取り付け耳 (イヤ) に当たらないように注意してください。** つるによる胴の穴あきやイヤはずれの原因になります。
- (10) 内容物を充てんしたペールは、**必ず屋内に保管してください。** 屋外に保管すると天板に雨水などがたまり、口金から浸入するおそれがあります。また、発錆することがあり、外塗装膜が劣化し、膨れや剥離、変色が発生することもあります。
- (11) 屋内であっても、保管の状況 (温度など) により、容器内部の圧力が過剰に上がると内容物の流出、缶体の膨らみ変形を起こします。また過剰に下がるとバキューム現象により缶体の凹み変形を起こしますのでご注意ください。充てんしたペールの積み重ね高さは関係法令に基づき遵守してください。
- (12) 使用済みペールを廃棄する時は内容物を取り除いた後、関連法令 (廃棄物処理法など) に従って処理してください。

リサイクルシステムの維持にご協力をお願いします。



- 薬品から塗料、油類まで内容物を選ひません。
 - 充分な安全性は危険物輸送にも安心です。
 - 角が少なく、怪我しにくい形状です。
 - 天板が取り外せるので充填作業がスムーズです。
 - 外装が不要なのでコストが下がります。
 - 鋼板に直接印刷が可能。
- 美しい外観で商品価値を高めます。

ペール缶を
再認識
してください



ドラム缶工業会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 (鉄鋼会館6階)

TEL. 03-3669-5141 FAX. 03-3669-2969

e-mail : drum.pail@jsda.gr.jp

<http://www.jsda.gr.jp>

ペールメーカー会員会社

株式会社 ジャパンペール ■ <http://www.j-pail.co.jp/>

本社営業部 06-6535-1721

東京支店 03-5649-2212

新邦工業株式会社 ■ <http://www.shinpo-kk.co.jp/>

本社営業部 03-3861-5285

株式会社 長尾製缶所 ■ <http://www.nagaocan.co.jp/>

本社営業部 0737-52-8558

東京営業所 03-5733-5591

株式会社 前田製作所 ■ <http://www.maedamfg.co.jp/>

本社営業部 03-5246-6301